

令和7年度 世田谷区立若林小学校 学校経営方針

世田谷区立若林小学校

1 学校教育目標

【校訓】

「至誠にして動かざる者は未だ之れあらざるなり」～誠を尽くす若林の子ども～

【目指す児童像】

○やさしい子ども

生命を尊重し、心身ともに健康で活力に満ち、たくましさと他を思いやる心を兼ね備えた子

○よく考える子ども

自分の力で粘り強く考え、正しく判断し、創意工夫して行動する自主的・自発的な子

○がんばる子ども

目標をもって最後までやりぬき、達成感を味わいながら成長していく子

2 目指す学校

○徳に進み学業を修める学校（進徳修業）

真心を尽くし、誠を貫くことを大切にし、知・徳・体の調和ある教育を推進する。

○皆で磨き合い、皆で創る学校（玉磨かざれば光らず）

児童同士があらゆる場面で切磋琢磨しながら自己を高めていくとともに、家庭、地域、学校が教育における各々の役割と協力を大切にし、創意工夫しながら取り組む。

○歴史と伝統を受け継ぎ、地域と共に歩み発展していく学校（今年度学校創立154年）

歴史と伝統を受け継ぎながら愛校心を育み、共に成長することを誇りとする。

3 令和7年度 重点目標

1 探究的な学びを通して、主体的に学習に取り組む児童の育成

- 「教師は学びの伴走者」であることを踏まえ、一斉型授業から脱却し、児童自ら問いを立て解決していく探究プロセスを踏まえた指導（「せたがや探究的な学び」）を全教科において実践する。
- 児童が主体的に学びに向かい、生涯にわたって能動的に学び続ける学習者となるよう、指導方法の工夫・改善に取り組み、質の高い授業を構築する。
- 話し合いによる学び合いから、自分の考えが広がり深まる経験を通して、他者と協働して学習することの楽しさと有用さを実感させていく。
- 探究学習や情報教育等を通して、タブレット端末を児童自らが効果的に活用できる判断力や思考力、情報活用能力を育成する。ICT活用の加速化により、「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実を図るとともに、デジタル・シティズンシップの考えのもと、デジタルリテラシーを学年に沿って確実に培う。
- 地域の教育資源の活用や異学年及び隣接大学、保育園等との交流活動を中心に特色ある「キャリア・未来デザイン教育」を展開し、児童の自己肯定感及びチャレンジ精神を育む。

2 規範意識を身に付け、自分も周りの人も大切にする児童の育成

- 全教育活動を通じて児童の規範意識の醸成を図るとともに、人権感覚を高め、互いに多様性に配慮し、多様性を理解・尊重することができる児童を育成する。
- 共生社会に生きる人として、相互に尊重し合うことができるよう教育活動を通じて思いやりの心を育む。「共に学び・共に育つ」インクルーシブ教育の視点を常に大切にする。
- 偏見・差別を受けず周りから認められ、安心して自己発揮できる学校・学級作りに努める。
- 道徳の授業を中心に、人としてよりよく生きる上で大切なことについて考え合わせ、他者を思いやり、協働して生活していく上で基盤となる道徳性を培う。
- 「時を守り、場を清め、礼を正す」を合言葉に、基本的な生活習慣を身に付けさせていくとともに、自らを律して生活し成長していく児童を育成する。
- 相手の思いを尊重しながら、適切に自己主張するコミュニケーション（アサーティブ・コミュニケーション）を身に付け、互いに認め合える良好な人間関係を構築していく。

3 積極的に運動し、目標に向かって粘り強く取り組む児童の育成

- 運動の楽しさと心地よさを味わわせ、児童自ら様々な運動に親しむ態度を育てる。
- 体育の指導及び校内の体力向上の取組の改善・充実に努め、生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践するための素地となる資質や能力を育む。
- 自己の目標に向かって粘り強く努力を続ける経験を通して、運動技能の獲得はもとより、達成感を伴った心身の成長を促していく。
- 「若小チャレンジ」（体力向上に関する取組）では、体育の授業に加え、全校一斉の取組やクラス目標の設定などにより、運動に対する意欲と関心を一層高める。
- 食育に関する学習や様々な体験等を通して、健康な体づくりに関心をもたせ、児童自ら健康を意識した生活を継続できるようにする。

4 学校や地域の特色を踏まえた魅力ある教育活動の推進と、「世田谷杜の学び舎」における取組の充実

- 「まち全体が学びの場」「学校と地域でつくる学びの未来」をコンセプトに、地域社会と協働して探究のサイクルを意図した学習を組み立て、豊かな学びの中で、これからの社会で必要となる資質・能力を育成する。（「若林サミット」の開催、魅力ある授業・学び舎作り）
- 地域の様々な教育資源を積極的に学校教育や授業、活動に取り入れ、児童にとって魅力に感じる多様な学びの場を創造する。
- 価値ある地域連携の学びの取組を、学び舎内においてもさらに充実・発展させていく。

5 「なりたい自分」につなげるキャリア教育の充実

- キャリア教育の取組を一層充実させ、児童が自分の力で周囲や社会をよりよく変えたという実感を捉えることができよう、価値あるキャリア教育の取組を工夫する。
- 「なりたい自分」につなげるキャリア教育を工夫・充実させ、児童のキャリア形成を図る。
- 「キャリア・パスポート」の作成・活用を通して、子どもたちが将来の夢と今学んでいることのつながりを意識できるようにし、主体的に学ぶ意欲の向上を図る。
- 全校朝会等における鼓笛演奏や若小班活動、各行事や委員会等での活動において、高学年児童の姿が下級生の憧れや模範となるよう活動に取り組ませる。

4 働き方改革の推進

- 「質の高い授業」「持続可能な学校」を創り出すために、学校における教員の働き方を見直し、子どもたちに真に必要な、価値ある教育活動を計画・実践していく。
- 地域、企業等の協力を得て、学校内の業務をサポートする体制を構築し、教員が授業研究や子どもと向き合う時間を十分に確保できるようにする。
- カリキュラム・マネジメントにより、学校における働き方改革を一層推進する。また、教職員の心身の健康保持を図るために、勤務時間の管理やメンタルヘルスにも配慮していく。
- 学校運営においては、地域連携を基盤にアウトソーシングの考えを取り入れ、教員がやるべき業務とそれ以外の業務との分別を目指す。

5 めざす教師像 「若林小学校職員としての高い志をもち、誠を尽くす」

- 向上心をもち、自己の資質向上と指導力向上に常に努める教師
- 若林の歴史、文化、自然などの学習資源を生かした教育を推進する教師
- 教育公務員としての自覚と使命感をもって働き、児童・保護者・地域から信頼される教員
- 児童一人ひとりを認め、子どもがもつ可能性を伸ばし、夢を育てる教師
- 教員同士で切磋琢磨するとともに、学校課題の解決に向け、組織的に協働する教師
- 「時を守り、場を清め、礼を正す」を児童とともに実践する教師

～ クリエイティブな教師をめざして～

刻々と変化する社会において、未来への見通し、柔軟性、応答力をもって
児童の発達可能性を最大限に引き出すために、リソースを集めよう。

新たな着眼点や手法を自分であるいは同僚と構築し、授業、学級経営、学校行事等において豊かな学びを創造しよう。

6 サービスの厳正

公務員は全体の奉仕者であり、教育公務員は高い法令遵守とモラル意識が求められている。
勤務時間内外を問わずに、服務事故を起こさないように十分に注意をする。

- ・体罰の厳禁（常に冷静に、児童が言動を自ら改める指導を心掛ける。）
- ・不適切な指導（人権侵害にあたる言動、性暴力等）の根絶
- ・交通事故、交通違反ゼロ
- ・個人情報や文書、金銭の適切な管理と会計事故の防止
- ・ハラスメント（人間としての尊厳を侵害する行為）の防止
- ・信用失墜行為の禁止